

# 2024年3月期 第1四半期(FY2023 1Q) 決算概要

2023年8月2日

千代田化工建設株式会社

# エンジニアリング 社会の“かなえたい”を共創する



SPERA Hydrogen  
Shaping the Future of Energy

## Our SDGs Materiality



7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



13 気候変動に  
具体的な対策を

1. ハイライト
  2. 損益計算書
  3. 利益増減分析
  4. バランスシート
  5. 受注高・受注残高
  6. 主なトピックス
- 【付表1】完成工事高・受注残高内訳
- 【付表2】業績推移

# 1. ハイライト

## 1. 事業収益力の一段の向上

前年同期比、増収増益。過去10年間での前期の最高益に続き、今期も順調なスタート。

## 2. 収益基盤の安定化

手持案件の着実な遂行、新規分野の積み上げ、リソース配分の最適化により、2期連続の高い安定した収益水準を目指す。

## 3. 新規事業分野の進捗

カーボンニュートラル分野を中心に、要素技術の社会実装に向け、実証・基本設計案件へ多数参画中、案件の創出へとつなげる。

## 2. 損益計算書

(単位:億円)

	FY2022 1Q	FY2023 1Q	増減	FY2023 通期予想	進捗率
完成工事高	757	1,294	537	4,500	29%
完成工事総利益	65	84	19	350	24%
完成工事総利益率	8.6%	6.5%	△2.1pt	7.8%	—
販売費・一般管理費	△28	△33	△6	△150	22%
営業利益	38	51	13	200	25%
経常利益	35	65	29	200	32%
純利益* <sup>1</sup>	22	49	27	150	33%
為替レート(円/米ドル)	137	145		130	

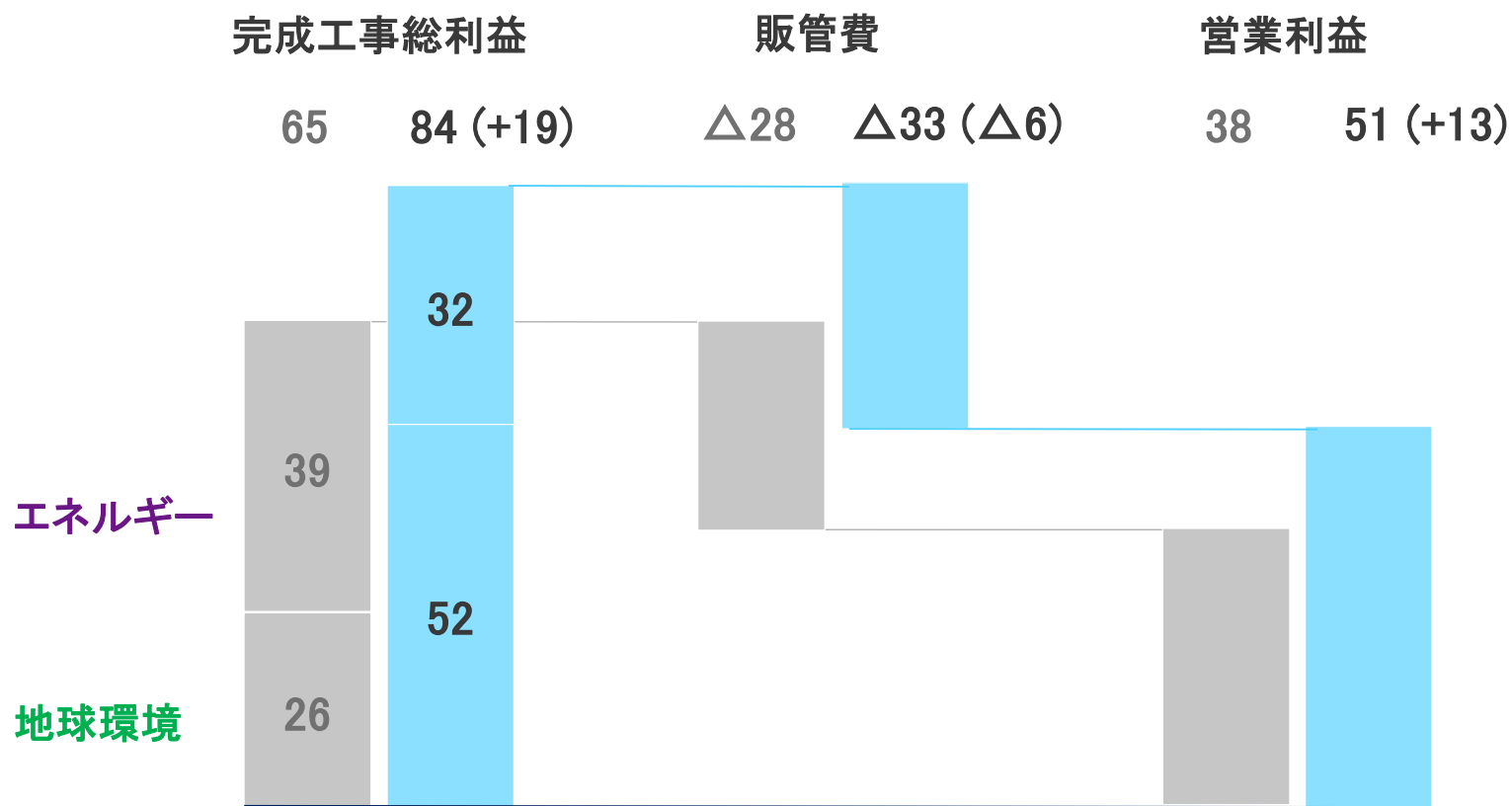
\*<sup>1</sup> 親会社株主に帰属する当期純利益

### 3. 利益増減分析

(単位: 億円)

FY2022 1Q

FY2023 1Q



( )内: FY2022 1Q比増減

## 4. バランスシート

(単位: 億円)

	FY2022 4Q	FY2023 1Q	増減		FY2022 4Q	FY2023 1Q	増減
流動資産	3,830	3,793	△36	流動負債	3,563	3,410	△152
現金・預金等	612	705	93	営業負債*3	2,927	2,855	△72
営業資産*1	586	649	62	工事損失引当金	279	248	△31
JV持分資産*2	1,616	1,645	28	固定負債	280	300	20
固定資産	236	234	△2	純資産	223	317	94
総資産	4,066	4,027	△38	負債・純資産	4,066	4,027	△38
				自己資本	222	316	94
				自己資本比率	5.5%	7.8%	+2.4pt

\*1 営業資産＝受取手形・完成工事未収入金及び契約資産＋未成工事支出金

\*2 JV持分資産＝ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金

\*3 営業負債＝支払手形・工事未払金＋契約負債（未成工事受入金）

## 5. 受注高・受注残高

(単位:億円)

	FY2023 1Q 受注高	FY2023 1Q 受注残高
エネルギー分野	91	8,273
地球環境分野	254	3,013
合計	344	11,286

### 【受注残高主要案件】

	1,000億円以上	50億円以上
エネルギー分野	カタール・NFE LNG	米国ゴールデンパスLNG インドネシア・タンゲーLNG
地球環境分野	インドネシア銅製錬	CO <sub>2</sub> メタネーション設備 バイオ医薬品原薬製造工場 合成燃料実証設備

# 6-1. 主なトピックス - 海外遂行中案件 -

## インドネシア・タンゲーLNG

建設工事終盤、完工に向けて遂行中。



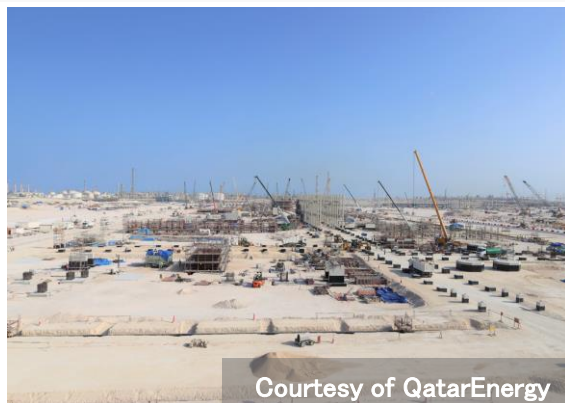
## 米国・ゴールデンパスLNG

建設工事が本格化し、進捗中。



## カタール・NFE LNG

設計・調達を遂行、本設プラントの土木工事が本格化。



## インドネシア銅製錬

設計・調達遂行中、建設工事が本格化。





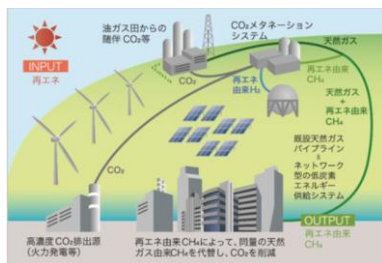
## 6-2. 主なトピックス - カーボンニュートラル分野 新規案件 -

カーボンニュートラル分野を中心に、技術の社会実装に向けた[実証・基本設計案件へ多数参画](#)。  
実証段階から顧客と伴走することで知見を蓄積し、案件の創出、受注につなげる。

### 1 CO2メタネーション設備 建設工事

[顧客:(株)INPEX]

- ✓ メタネーション技術\*1は、ガスの脱炭素化の鍵。
- ✓ 世界最大級の規模。  
(合成メタン製造能力:  
約400Nm<sup>3</sup>-CO<sub>2</sub>/h)



※ 顧客が、NEDO\*2の助成に採択され実施する技術開発事業。

<出典> 株式会社INPEX  
2023年6月16日プレスリリース

### 2 1BD\*3合成燃料実証設備 建設工事

[顧客:ENEOS(株)]

- ✓ 水素とCO2を原料とした合成燃料製造プロセスの早期の技術確立に貢献。
- ✓ 実証プラントのEPCを遂行。



※ 顧客が、NEDOのGI基金事業\*4に採択され実施する事業。

<出典> ENEOS株式会社  
2022年4月19日プレスリリース

### 3 CO2→CO変換プラント 基本設計業務

[顧客:積水化学工業(株)]

- ✓ CO2をCO(一酸化炭素)へ90%以上の高効率で変換する技術を用いたCO2処理プラントの設計。

※ 顧客が、NEDOのGI基金事業に採択され実施する事業。

### 4 大規模アンモニア分解触媒の技術開発

[共同事業者:(株)JERA、(株)日本触媒]

- ✓ 水素キャリアとしてアンモニアの利活用に向けて、競争力あるアンモニア分解技術の確立を目指す。

※ NEDOの助成\*5に採択され実施する触媒開発事業。

\*1 CO2と水素から「メタン」を合成する技術

\*2 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

\*3 Barrel per Day

\*4 グリーンイノベーション基金事業

\*5 競争的な水素サプライチェーン構築に向けた技術開発事業

# 【付表1】完成工事高・受注残高内訳

(単位:億円)

## FY2023 1Q 完成工事高

### 【分野】

エネルギー	783	61%
■ LNG・その他ガス関係	718	55%
■ 石油・石油化学	65	5%
地球環境	511	39%
■ 医薬・生化学・一般化学関係	76	6%
■ 環境・新エネルギー・インフラ他	435	34%
合計	1,294	100%

### 【地域】

海外	1,130	87%
■ 中近東・アフリカ	503	39%
■ 北中南米	141	11%
■ アジア・オセアニア	486	38%
■ その他海外	0	0%
■ 国内	164	13%
合計	1,294	100%

## FY2023 1Q 受注残高

### 【分野】

エネルギー	8,273	73%
■ LNG・その他ガス関係	8,009	71%
■ 石油・石油化学	264	2%
地球環境	3,013	27%
■ 医薬・生化学・一般化学関係	361	3%
■ 環境・新エネルギー・インフラ他	2,652	24%
合計	11,286	100%

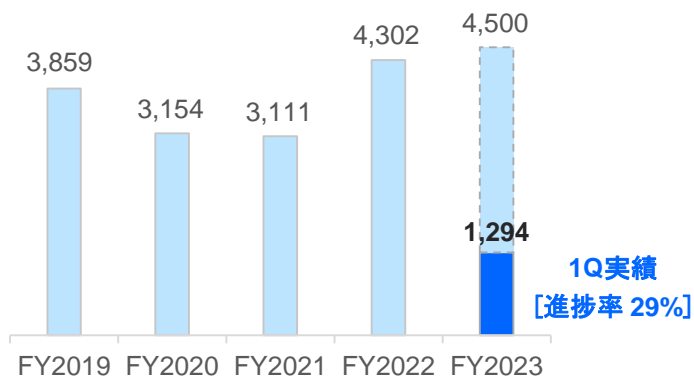
### 【地域】

海外	10,257	91%
■ 中近東・アフリカ	6,894	61%
■ 北中南米	867	8%
■ アジア・オセアニア	2,495	22%
■ その他海外	0	0%
■ 国内	1,029	9%
合計	11,286	100%

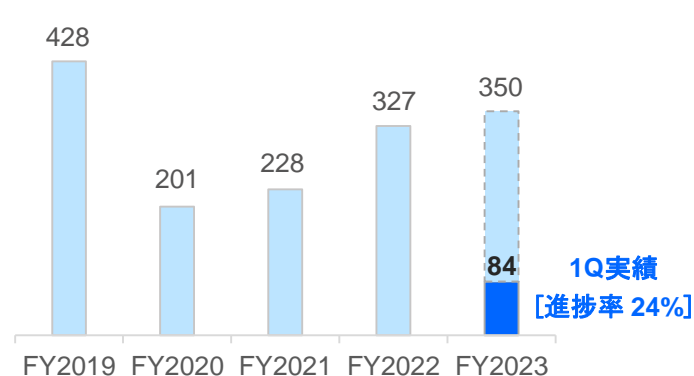
# 【付表2】業績推移

(単位:億円)

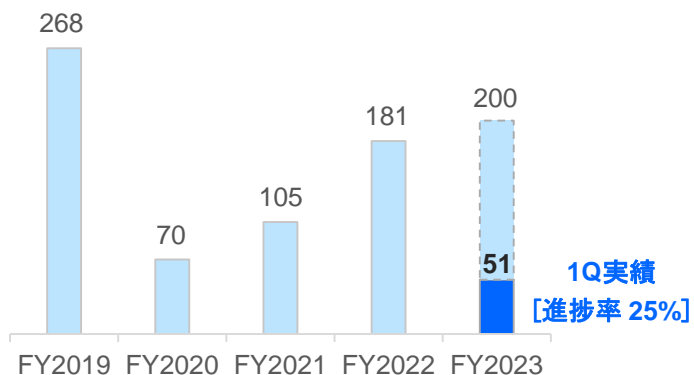
## 完成工事高



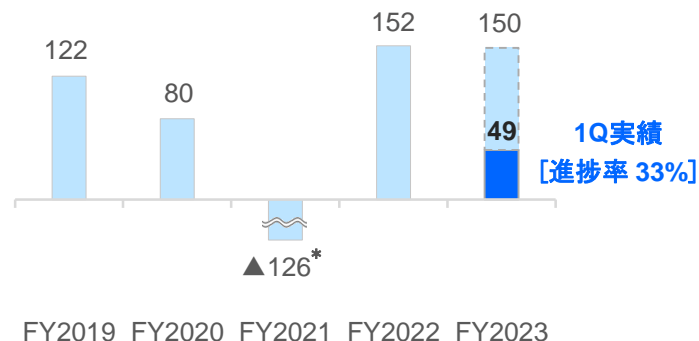
## 完成工事総利益



## 営業利益



## 純利益



\* 特別損失 ▲204億円含む(顧客との和解等によるプロジェクト関連損失)

# *Energy and Environment in Harmony*



千代田化工建設株式会社 総務部IR・広報・サステナビリティ推進セクション <https://www.chiyodacorp.com/jp/>

この資料には、事業戦略・本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。